

みちしるべ

第134号

人権・同和問題啓発広報
人権同和政策課
☎ 22-7506
同和教育・啓発推進会議

出雲市同和教育研究指定事業の取組

市では、市内の地区同和教育推進協議会を指定し、地区内の幼稚園、小・中学校、保育園(所)、コミュニティセンター等が連携を図りながら、「真に明るく住みよい民主的な社会の創造」をめざした地域ぐるみの同和教育を推進できるように、同和教育研究指定事業を実施しています。
平成26・27年度に指定した地域の取組を紹介します。

〇鰐淵地区

人権を尊重し、明るく住みよい鰐淵をめざして！
くつながり・TSUNAGAKU・つなげる

鰐淵地区は、コミュニティセンターの事業(ふるさとカルタの作成など)を通して、学校・保育所・地域・家庭の4者が「くつながり」、地域一体となった活動で「くつながる(TSUNAGAKU)」ことよって、地域の豊かな人間関係づくりをすすめる、子どもたちに「くつなげる」ことを重要な柱とした活動を展開しました。

まずは各年代別の人権・同和問題に関するアンケート調査に取り組み、人権侵害に気づく感性を養う必要性などを改めて実感することができました。また、1年目に岡山市渋染一揆資料館、2年目には松江市立福原会館への視察研修、そして前松江東高

等学校長の中村清志さんを講師に迎えての講演会(演題「『まかともか』を生きて」)や各町内でのビデオフォーラムを開催し、人権や差別についての認識を深めました。ビデオフォーラムでは、「まったく知らなかった」「いまさらどうして…」「そっとしておいた方が…」などの意見が多く聞かれ、研修を通して「差別をしない、させない、許さない」態度を養い、行動を継続することの必要性を感じました。

ほかに、鰐淵地区同推協だより「くつながり」の発行や、鰐淵小学校児童・保護者から募集した人権ポスターや人権標語ののぼりを地区内に掲示しました。



ビデオフォーラム



県外視察(岡山市渋染一揆資料館)



研究発表会

昨年12月の発表会では、鰐淵小学校の公開授業、そして2年間の取組の実践発表、花園学園長の松井宗益さんを講師に迎えて記念講演(演題「よい顔をつくる」)を行いました。参加者にとって貴重な学習の場となりました。

鰐淵地区
同和教育推進協議会
荒木 隆会長から

鰐淵地区では「人権を尊重し、明るく住みよい鰐淵をめざして!」くつながり・TSUNAGAKU・つなげる」をテーマに、これまで各種団体や保育所、小学校、コミュニティセンターなどとの関係をより一層強化して活動を展開してきました。

穏やかな地域性の中に埋もれて気づかない、無意識の中に潜む差別意識を地域の皆さんとの会話の中であえて議題として話し合い、正しい知識をきちんと理解することの重要性を改めて問いかけることができました。きめ細やかな意識調査から始まって集落単位での意見交換、子どもたちと一緒に作ったポスターや標語作成など、小さな地域だからこそできる取組、子どもからお年寄りまで一緒に実践できた素晴らしいこの2年間であったと実感しています。

成果品である発表会資料は鰐淵地区の今後の人権・同和教育に大いに役立ってくれるものと確信しています。

○上津地区

斐伊川が育む明るく住みよいまちづくり
「心とつながるの通う上津をめざして」

上津地区では、15歳以上の住民を対象として行った人権・同和問題に関するアンケートから、「差別や人権侵害を感じたことがある」との回答が45%と他地区に比較して高かったことから、地区の重要な課題と考え、さまざまな取組を展開しました。

まずは、毎月1日と15日を「上津あいさつデー」とし、家庭や隣近所で「あいさつ」をかわすことで、「温かい人間関係」を築いていくことから始めました。また、「啓発スローガン」をコミュニティセンターや各町内の集会所などに掲示したり、広報紙を発行し、啓発活動を行いました。広報紙『たんぽぽ』の名前は、「たんぽぽの綿毛がふわふわと飛び、新しいのちが芽生えるように、私たちも学んだ温かい心を広げて行こう」という願いを込めて名づけたものです。

1年目には、福山市人権平和資料館と国立療養所長島愛生園を訪問し、人権や平和についての資料を見たり、ハンセン病患者に対する偏見や差別の歴史について学びました。また、2年目には、松江市立菅田会館を訪問し、「福祉と人権の町づくり」をめざした取組について説明を受けました。また、全14町内で同和教育啓発指導員による出前講座を行いました。これらの研修から、差別や偏見による悲しい歴史を繰り返さないためにも、正しい知識を得ることの必要性を感じるようになりました。

昨年11月の発表会では、上津幼稚園、上津小学校の公開授業、そして2年間の取組の発表、その後、高田美樹さんを講師に迎えて記念講演（演題「出会いから学ぶ」）を行い、参加者にとって貴重な学習の場となりました。



県外視察（長島愛生園）



県内視察（松江市立菅田会館）



研究発表会

上津地区

同和教育推進協議会

錦織隆子会長から

上津地区では、取組の基本的な考え方として「差別や人権・同和問題を真剣に考え直すよい機会にしましょう」「上津を、より明るく住みよい地区にするよい契機にしましょう」と地区の皆さんに呼びかけ、活動テーマについては、「上津地区は斐伊川とともにある」ことを踏まえて、「斐伊川が育む明るく住みよいまちづくり」として事業を行いました。

発表会の講演の中で、私の心に強く残るものは「無意識の差別」「差別で誰が得をするか」「正しく学ぶ」「自分の意見をはっきり言う」「人権・同和教育は、自分の人生を豊かにする」等々です。話を聞くほどに、自分も知らないまま、無意識に人を傷つけてしまっているのではないかと思ひ、人権意識を高めることの重要性を改めて痛感しました。

今後、指定事業の成果と課題を踏まえ、啓発活動や毎月1日と15日のあいさつデーの呼びかけ等、小さいことからひとつずつ続けていき、「明るく住みよい町上津」「心とつながるの通う上津」を目指して引き続き取り組みます。

平成27・28年度の研究指定を受けている古志地区・佐香地区では、現在さまざまな取組が行われています。指定2年目となる今年度、取組の成果などの発表会が次の予定で開催されます。

○古志地区同和教育推進協議会

とき 11月26日(土) 主会場 神戸川小学校

○佐香地区同和教育推進協議会

とき 12月3日(土) 主会場 佐香コミュニティセンター

同和教育は、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、すべての人々の人権を尊重する取組です。今回紹介した研究指定を受けた地域だけでなく、研究指定を受けていない地域でも、さまざまな取組が行われています。皆さんも積極的に参加しましょう。